

# 令和3年度 地域の元気応援事業 ふりかえり報告書



松阪市 企画振興部 地域づくり連携課

令和4年6月

はじめに

## 1. 地域の元気応援事業について

地域の元気応援事業は、住民自治協議会やNPO等の市民活動団体による地域の特性を生かした魅力ある活動を応援する事業です。下記2部門で募集・審査を行い、優れた事業提案に対して活動資金を交付します。

## 2. 部門紹介（令和3年度地域の元気応援事業 募集要項の内容）

### （A）地域力アップ部門

対象団体	住民協議会
部門の概要	単独の住民協議会または複数の住民協議会が共同で行う事業を対象に、地域計画等に基づき、地域の個性を生かし、地域が一体となって地域の課題解決に取り組んでもらうことを目的とした部門。
支援額	上限 20 万円（活動交付金に加算）※地域づくりスポンサー賞で加算あり

※地域づくりスポンサー賞とは？

企業が地域社会の発展に賛助いただくことを趣旨として、住民協議会が行う活動を応援する賞です。（A）部門の事業提案の内、付加価値のある優れた事業提案に対して賞が授与されます。賞を受けると、20 万円を上限に交付金へ加算され、更なる事業の発展に活用することができます。

### （B）市民活動サポート部門

対象団体	松阪市内の地域づくりに寄与する、NPO等の市民活動団体（※）
部門の概要	NPO等の市民活動団体がおもつ多様なアイデアやスキルを生かした事業を実施することで、地域の活性化に役立ててもらうことを目的とした部門。
募集コース 及び支援額	①地域活性コース：NPO等の市民活動団体が行う事業のコース 支援額：上限10万円（事業費の10分の9まで） ②地域連携コース：NPO等の市民活動団体が、住民協議会と連携したり住民協議会を支援したりして行う事業のコース <b>★応募の際、関係する住民協議会の推薦が必要</b> 支援額：上限15万円（事業費の10分の9まで）

※応募対象となる団体は、公共の利益や社会貢献を目的として主体的・自主的な取り組みを行う、5人以上で活動する団体です。法人格の有無は問いません。ただし、未成年者だけで構成する団体は対象外です。

# 令和3年度採択事業紹介

## (地域カアアップ部門)

ページ	事業の名称／協議会・団体名	事業の紹介・PR	スポンサー賞
3	白米城の魅力アップ作戦	白米城の新たな魅力を楽しんで森林浴で健康増進してみませんか！	株式会社 第三銀行
	阿坂まちづくり協議会		
4	東畑精一を学ぼう！	松阪の偉人、東畑精一を小中学生や地域住民で学びながら地域が繋がる場を作ります。	
	豊地まちづくり協議会		
5	香肌の元気発信！冊子「カハダヲタベル」発行事業	「食」を主題にした、自然豊かな飯高地域に暮らす人々のエッセイ・エピソード集の発行	マックスバリュ東海株式会社
	川俣地区住民協議会 宮前まちづくり協議会 森を考える会 波瀬むらづくり協議会		
6	お年寄り町の誇り！「高齢者の経験・知恵を活かす」	地域の住民が「お年寄りは地域の誇り」である事を認識し老若男女が助け合う地域を創造する。	三重化学工業株式会社
	松ヶ崎まちづくり協議会		
7	住民自治協議会設立記念と「みえ松阪マラソン」支援	「住民自治協議会」の設立を記念した町名表示と「みえ松阪マラソン」を支援する取組み	宇野重工株式会社
	松尾まちづくり協議会		
8	宇気郷周遊コース整備プロジェクト	1周約14kmの周遊コースを策定します。ランニングやサイクリングにご活用下さい！	
	宇気郷住民協議会		
9	「守りあい 命を守る」地域防災力向上への取り組み	子どもから大人まで地域のみんが学びあい、関わりあい、互いの命を守りあう地域に。	松阪新電力株式会社
	第四地区住民協議会 港まちづくり協議会		

## (市民活動サポート部門)

ページ	事業の名称／協議会・団体名	事業の紹介・PR	スポンサー賞
10	ギターを通して世界に羽ばたく松阪の子ども育成事業	松阪からクラシックギターを通して世界へ羽ばたく活動を行います。	松阪新電力株式会社
	松阪ギター音楽協会		
11	次世代に引き継ぎたい！「伊勢寺地区の名所・旧跡」	伊勢寺郷土史研究会は地域の名所・旧跡を冊子にまとめ、次世代に引き継ぎます。	水谷養蜂園株式会社
	伊勢寺郷土史研究会		
12	三重県一のカヌー・グレンデ香肌峡の宝発掘・魅力発信	カヌースポーツの振興・普及を通じて素晴らしい景観を持つ櫛田川の魅力を発信します。	マックスバリュ東海株式会社
	MCA松阪市カヌー協会		

※「株式会社 第三銀行」は、2021年5月1日に「株式会社 三重銀行」と合併し、「株式会社 三十三銀行」に商号が変更されています。

※令和3年度の地域の元気応援事業は募集及び審査を令和2年度中に行ったため、協議会・団体名称は令和2年度時点の名称を記載しています。

<地域力アップ部門>

協議会名	あざか住民自治協議会
事業名	白米城の魅力アップ作戦



目安箱設置



白米城キャラクター

キャラクター名前： 白マッスル

<b>実施目的</b>			
<p>現在、白米城を取り囲む環境は変わってきました。新型コロナ感染の中、人を集める企画を取りやめ、将来に向けた取り組みを行います。今、地域が困っている事項を解決して、新たな白米城を知ってもらう為の作戦に取り組み、白米城の新魅力を内外に発信します。</p>			
<b>事業報告</b>			
<p><b>【事業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 白米城の登山口にアイデア目安箱を設置する。</li> <li>2) 白米城の登山をしている人数を把握できるようにする。</li> <li>3) 祭日は駐車場が満車になるので、路上駐車が増えない対策を行う。</li> <li>4) 登り口の便所を更新する方法について。</li> <li>5) 白米城のマスコットキャラクターを募集する。</li> </ol> <p><b>【成果】</b></p> <p>アイデア目安箱、登山者数計測器の設置により白米城への登山者数や意見や要望また感謝の気持ちなど具体的に知ることができました。</p> <p>これらの意見や要望を少しでも多く実現していけるよう今後の活動の指針とすることができました。また、白米城のキャラクターも出来、地域発信のイメージアップになります。</p>			
<b>活動について</b>			
<p><b>【実施して良かった点】</b></p> <p>アイデア目安箱によるアンケート結果から、普段登山している方の年代や登山の目的、回数、また何処から来られたなどを知ることができました。</p> <p>何よりアンケートに感謝の気持ちが込められたものが多数見受けられ、普段整備活動している方達への励みになります。他所から見える方、地元で迎える方、お互いの気持ちが分かれば、楽しくなります。</p> <p><b>【これからの活動】</b></p> <p>白米城伝説は、全国に100カ所（山梨、大分・・・）あるそうですが、松阪市にある白米城が最も知名度が上がるように、PRを行い、沢山の皆さんに親んでもらいたと思います。</p> <p>集客が多くなることで、キャラクターメダル、農産物などを販売して、あざか住民自治協議会として、収益事業に繋げていければいいなと考えています。</p>			
総事業費	410,406円	連絡先	0598-58-2645



<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	豊地まちづくり協議会
<b>事業名</b>	東畑精一を学ぼう！



<b>実施目的</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の偉人東畑精一を広く知らせる。</li> <li>2. 地域素材として、小中学校の学びに繋げて、未来を担う子どもたちの成長にいかす。</li> </ol>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊地小学校、地域の方々と田植え、稲刈り体験により“東畑精一米”を作る。</li> <li>・ 東畑精一の偉業を講座や講話などで学びパンフレットを作成し、子どもたちの成長や農業教育にいかす。</li> <li>・ 文化祭でパネル展、パネルディスカッションを行う。</li> </ul>			
<b>【成果】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊地地区の小中学生、地域の皆様及び東畑精一を学ぶ会、まちづくり協議会役員他総勢 60 名で「東畑精一」を田んぼアートで表現した。(写真掲載)</li> <li>・ 「東畑精一」のリーフレット作成、松阪市長に完成報告会を行った。(写真掲載)</li> <li>・ 豊地文化祭にて「東畑精一パネル展」開催。</li> </ul>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土の偉人「東畑精一」について、松阪市民の皆様を知って頂くことが出来た。</li> </ul>			
<b>【これからの活動】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の中心「東畑精一を学ぶ会」を支援する。</li> </ul>			
<b>総事業費</b>	260,107 円	<b>連絡先</b>	0598-42-4275 (豊地公民館内)

<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	川俣住民自治協議会 宮前まちづくり協議会 森住民自治協議会 波瀬むらづくり協議会
<b>事業名</b>	香肌の元気発信！冊子「カハダヲタベル」発行事業



<b>実施目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子を発行・配布・保存することで、地域に古くから伝わる食文化の次世代への継承を行いたい。</li> <li>・「たべもの」を通して「田舎暮らし」の魅力を発信し、この地域への移住促進に役立てたい。</li> </ul>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A5 版無線綴じ・148 ページ・オフセット印刷フルカラー・4500 冊の発行、冊子内容—「食」にまつわるエッセイ・エピソード集、応募原稿からの掲載、SNS からの転載・聞き書き（聴き取り調査）、飯高管内全戸に原稿募集のフライヤー配布、主要施設にポスター掲示。</li> <li>・ 関連イベント① R3/5/25 飯高公民館寿大学第二回講座「カハダヲタベルを語ろう」、② R3/9/1～R4/5/7 フォトエッセイ展「カハダヲタベル展」開催。松阪農業公園ベルファーム→徳和地区市民センター→飯高総合開発センター・観光案内所波瀬駅→道の駅飯高駅→マックスバリュ大石店、③ R3/10/17 徳和公民館との共催「いばら饅頭教室」開催、④ R3/ 7/9 川俣公民館との共催「いばら饅頭を作ろう」開催、⑤ R3/11/6 川俣公民館との共催 「干し柿を作ろう」開催、⑥ R4/3/1 飯高町全世帯に冊子無料配布、⑦ ベルファーム・飯高駅をはじめ、移住相談センター、行政機関、図書館、大学研究室等、全国 38 箇所に計 2,500 冊寄贈。</li> </ul>			
<b>【成果】</b>			
地域内外からの好評を博し、配布以降各方面からの反響が予想以上にあった。当該冊子の製作を通じて、飯高町全域に人的ネットワークが築けた。			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冊子製作未経験のため、版下作成までの専門的知識がなく、技術的な障壁がいくつもあり、その都度調べながらの作業進行だったので非常に手間取った。</li> <li>・ 写真展、教室等、関連イベントを企画して関心を集める努力をした。</li> </ul>			
<b>【これからの活動】</b>			
冊子製作の技術的なノウハウを習得したので、新たなテーマのもとで「飯高・田舎暮らし」の魅力を発信する冊子を低額予算で発行したい。			
<b>総事業費</b>	620,790 円	<b>連絡先</b>	0598-45-0002 (代表 川俣住民自治協議会事務局)

<地域力アップ部門>

協議会名 | 松ヶ崎住民自治協議会

事業名 | お年寄りには地域の誇り！高齢者の知恵と経験に学ぶ。



高齢者事業特別検討委員会委員



高齢者学級「しおさい学級」学習風景

**実施目的**

松ヶ崎の高齢化率は、40%強と松阪市の平均を大きく上回る数値となっている。また高齢者の一人世帯、二人世帯が増加しており、高齢化が急激に進行していることから、高齢化問題を地域に投げかける事で、全ての住民がこの実情を理解し、地域として個人として何をすべきか？考える“きっかけ”とするためこの事業を実施した。

**事業報告**

**【事業内容・成果】**

1. 高齢者100人アンケート調査

この調査については、111人の協力が得られ、高齢者の実態、考え方等、把握することができ、今後の高齢者事業のデータとして活用する。なお、各自治会においても高齢者問題を自治会テーマとしてもらうため報告書を各自治会とアンケート調査協力者に配布した。

2. 高齢化をテーマとした「標語」の募集

募集チラシを全世帯に配布し、全ての地域住民に高齢者対策の必要性を広く・深く浸透させる効果も期待したものである。合計80点の作品が寄せられ、最優秀作品、優秀作品についてはチラシに掲載し全戸に配布した。

3. 高齢者学習「しおさい学級」の開催

「学びと交流（集い）」を目的に6回連続講座として開催。松阪市の課題と方策、健康、防災、地域の歴史など学習課題とし受講生は延160人以上となった。特に、防災、歴史学習には飛び入りの参加者もあり反響を呼んだ学習会となった。

**活動について**

**【実施して良かった点、苦労した点】【これからの活動】**

▶100人アンケート調査については、各自治会の協力が得られた事、回答者も111人に上り高齢化社会への関心を高める成果がみられた。報告書の作成について、いかに調査結果を住民に正しく伝えることができるか報告書作成に苦労した。

▶標語の募集は、当初予想した応募数を大きく上回る作品が寄せられた。また、応募者の一部から「今まで関心は薄かったが、これから住民協活動に協力したい」との声が届いている。

▶高齢者学習は、申し込み者の95%以上が毎回受講され、今後も続けてほしいとの声が出された。

なおこの事業は女性9名の委員からなる「高齢者事業特別検討委員会」を発足し、アンケート項目の決定、高齢者学習会の課題の選定など話し合い、女性の思い、考え方等が反映された内容となった。

総事業費	583,000円	連絡先	0598-51-5036
------	----------	-----	--------------



<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	松尾住民自治協議会
<b>事業名</b>	住民自治協議会設立記念と「みえ松阪マラソン」支援



<b>実施目的</b>	
地域組織「松尾住民自治協議会」設立を記念した取り組みを行う。	
<b>事業報告</b>	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>地域の一体感を高める取り組みとして、地区自治会と協力して町名を記した立看板を各自治会区域に設置し、「松尾住民自治協議会」の啓発に努めるものとする。なお当地域は、みえ松阪マラソンコースの中間地点に位置することから、町名だけでなく、地域の特色やスタート地点からの距離を表示した立看板を立て、ランナーを励ますとともに、当地を訪れた方々へ地域の魅力を発信する。</p> <p>更に、ランナーを応援するメッセージを入れた大横断幕を作成した。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和3年度も、みえ松阪マラソンは延期となったが、次期開催に向け立看板や大横断幕を作成しコース沿道内に掲示する準備を進めた。</p>	
<b>活動について</b>	
<p><b>【実施して良かった点、苦労した点】</b></p> <p>みえ松阪マラソンが、令和3年度も延期となったため残念であった。</p> <p><b>【これからの活動】</b></p> <p>住民自治協議会の活動を推進していく。</p> <p>また、令和4年度総会において地域の方々に披露し、更に6月の健康ウォーキング「みえ松阪マラソンコースを歩こう！」では、大横断幕のお披露目会を行う。12月18日の、みえ松阪マラソン開催時には立看板及び大横断幕を掲示し、ランナーやランナーへの応援で地域を訪れる方々へ当地の魅力を発信に努めていく。</p>	
<b>総事業費</b>	566,400円
<b>連絡先</b>	0598-58-2648



<地域力アップ部門>

協議会名	宇気郷住民協議会
事業名	宇気郷周遊コース整備プロジェクト



**実施目的**

宇気郷地区の周遊マップを作成し、周遊コースの紹介や周辺地域の魅力を発信する。本プロジェクトを通じて、近隣市町の健康増進に貢献するとともに、宇気郷地区への来訪者を増やし、山里の持つ魅力を味わってもらい、宇気郷地区のファンを増やしていく。またこのマップは、嬉野宇気郷地区含めた宇気郷地区（旧宇気郷村）全体のマップであり、昭和の大合併以降、2 つに分かれてしまった宇気郷地区を改めてつなぎ直していくきっかけにしていきたい。

**事業報告**

**【事業内容】**

令和 2 年度に策定した宇気郷地区の周遊コースの紹介マップを作成した。作成にあたっては地域住民有志とともにコースを歩き、見どころや安全上注意する箇所等について調査した。嬉野宇気郷住民協議会、中京大学生の協力も得ながら実施した。

**【成果】**

周遊コースのマップを 3,000 部発行し、地域内の集客施設および地域外の集客施設等に設置してもらった。また、地域住民全世帯にも配布した。さっそくランニング愛好家の方々が宇気郷地区を訪れるなどの反応があった。また地域住民からは旧宇気郷村時代の思い出を懐かしむ声が上がったりもしている。嬉野宇気郷地区とのつながりを再構築していくきっかけをある程度つくることのできたのではと感じている。

**活動について**

**【実施して良かった点、苦労した点】**

良かった点…調査を通じて改めて宇気郷地区の魅力を再発見することができたこと、嬉野宇気郷地区の方々にしっかり協力していただいたこと。

苦労した点…1 周 14 km もある周遊コースをどのように 1 枚の地図で表現するか、嬉野宇気郷地区の方々とどのように協力しながら進めていくか。

**【これからの活動】**


令和 4 年度事業でマップの看板を作成し地域内に設置する。周遊コースの周知を進め、宇気郷地区への来訪を呼び掛けていく。

事業費	333,510 円	連絡先	0598-35-0014
-----	-----------	-----	--------------

<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	第四地区住民協議会・港住民自治協議会
<b>事業名</b>	「守りあい 命を守る」地域防災力向上への取り組み



<b>実施目的</b>			
<p>令和2年4月鎌田中学校内において地域活動がスタートしました。コロナ禍で新しい生活様式が求められる今、子どもから大人まですべての世代が学びあい、関わり合い、自他の命を守りあう行動ができる力をつけることを目的に第四地区と港地区の地域ほか学校、行政、防災関係者が一体となりいつ起きるかわからない大規模災害や風水害に備えるきっかけとしていきたい。</p>			
<b>事業報告</b>			
<p><b>【事業内容】</b>                  コロナ禍での防災訓練は感染対策を徹底し、防災リーダー育成研修として訓練内容を縮小しての開催となりました。地域に周知するため今回の訓練内容を冊子にまとめ、両地区全戸に配布し、各家庭で防災について話し合っていたいただいていると思います。</p>			
<p><b>【成果】</b>                  アンケート結果においても、「日頃から訓練することで安心安全なまちづくりが実現する」ことなど、個々にいろんな気づきがありました。また開催するにあたり鎌田中学校3年生がテーマ別に学習を行い、普段当たり前にあるものが使えなくなる不便さや、地域への自分たちのかかわり方なども学んでくれたと思います。</p>			 家庭で考える防災QR
<b>活動について</b>			
<p><b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>                  日頃からつながりあうこと、顔見知りになることで守りあう関係性を築くことができよかったです。コロナ禍において訓練規模の縮小や代表者会議をオンライン会議で行いました。</p>			
<p><b>【これからの活動】</b>                  定期的に防災訓練や防災の勉強会を開催し、防災意識の継続できる取り組みを行っていききたいと思います。今回は小中学生がオンライン視聴による訓練参加となりましたが、次回からは活躍していただける場を作りたいです。地域の参加者には災害を身近に感じてもらえたかと思います。また参加者アンケートではもう少し時間をかけて実施したいという意見等が複数あり次回へつなげていきたいです。</p>			
<b>総事業費</b>	518,590円	<b>連絡先</b>	0598-52-1854 (代表 第四地区住民協議会事務局)

<市民活動サポート部門>

<b>団体名</b>	松阪ギター音楽協会
<b>事業名</b>	ギターを通して世界に羽ばたく松阪の子ども育成事業



<b>実施目的</b>			
松阪を「クラシックギターのまち」にするため、若い人材を育て 10 年後に 100 人の松阪市民ギターアンサンブルを組織し、海外での演奏を開催する。			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>	<p>■具体的な事業内容と期待される効果</p> <p>1. ふれあい子どもギターコンサートとワークショップの開催 夏休み期間中に、いくつかの小学校で開催 50分ほどのコンサート 120分ほどのワークショップ 目的:クラシックギターの魅力を伝え、感じてもらうこと</p> <p>2. 小学生対象 ギター講習会 11月～12月 各日曜日に開催 目的:約1ヶ月半に渡りクラシックギターと向き合ってもらい、マッチングするかどうかを判断してもらう機会の創出 *コロナ対策:消毒液による除菌とマスク着用の徹底</p>		
<b>【成果】</b>	<p>■体験事業：20組の親子の参加      ■ギター講習会：16名のこどもたちの参加</p>		
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
中学生の既存メンバーによって開催した『体験会』では、参加いただいた小学生の子どもたちへのアンケート結果からも回答いただいた全員から“良かった”の声とお連れいただいた親御さんからも、ご自身のお子様が一生涯懸命にギターを弾く姿に喜んでいただける声をいただいた。コロナ禍で、開催することも危ぶまれたが、万全の対策を施すことで安心して参加いただけた。			
<b>【これからの活動】</b>			
引き続き、メンバー募集を継続し、コロナ禍で先は見えないがギターによる外国との文化交流を図るべく、個人、団体のレベルアップを行っていく。			
<b>総事業費</b>	102,310円	<b>連絡先</b>	0598-51-4425（担当：中西）



<市民活動サポート部門>

<b>団体名</b>	伊勢寺郷土史研究会
<b>事業名</b>	次世代に引き継ぎたい！伊勢寺の史跡・旧跡



<b>実施目的</b>			
<p>「郷土のことを次世代に語り継いでいきたい」と地区市民センターを活動拠点に地区の郷土史について調査、研究を行ってきました。長年調査、研究した成果を冊子「伊勢寺地区の名所・旧跡」として書籍にまとめ、配布することで、郷土の歴史をより多くの地域住民に知っていただくとともに、次世代に引き継いでいきたいです。</p>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<p>会の結成より10年が経過したことから、これまでの調査、研究した資料をより多くの地域の方々に見ていただき、知っていただきたいと冊子「伊勢寺地区の名所・旧跡」としてまとめました。冊子は、郷土の歴史、史跡について写真を入れて、B5サイズ108ページにまとめました。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>冊子「伊勢寺地区の名所・旧跡」を150冊印刷しました。当初は地域の自治会や小中学校、市内の図書館への配布と考えていましたが新聞報道等から多くの問い合わせをいただきました。冊子を活用し、10月には公民館のいきいき学級で講演を行いました。小学校の地域学習の講師の依頼もありましたが、コロナ禍で資料の提供のみとなりました。今回、研究成果を次世代に引き継ぐ冊子を完成することができました。</p>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<p>今回、タブレットの学習に活用いただけるように冊子をPDFにして小学校に提供したところ、地域学習の講師依頼がありました。資料をまとめ、写真を整理するなどの校正作業は大変でしたが二世代に渡って研究してきた成果を冊子にまとめることが出来ました。</p>			
<b>【これからの活動】</b>			
<p>令和4年度も公民館よりいきいき学級の講師依頼がありました。会員の高齢化により冊子完成に伴い、会の活動を休止することになりましたが冊子を活用し、次世代に引き継ぐ活動を行っていききたいです。</p>			
<b>総事業費</b>	169,670円	<b>連絡先</b>	0598-58-2647（伊勢寺地区市民センター）

<市民活動サポート部門>

<b>団体名</b>	MCA 松阪市カヌー協会
<b>事業名</b>	三重県一のカヌーゲレンデ香肌峡の宝発掘・魅力発信



<b>実施目的</b>			
① 素晴らしい景観を持つ橿田川の魅力の発信 ② 子供たちの水遊びの復権 ③ カヌースポーツの振興・普及 ④ 飯高の魅力の発信と地域の振興			
<b>事業報告</b>			
【事業内容・成果】 ① 岩盤を穿って流れる橿田川は、香肌峡県立自然公園と言う素晴らしい景観を持ち、転がる大岩やテトラポットがない安全な川です。しかしながら景観を楽しめる場所や散策道は十分でないのが現状です。橿田川を多くの人たちが訪れ心を癒す場となるように飯高駅芝生公園下の河原（ロックガーデン）や散策ルートの整備を充実しました。 ② 毎年夏になると全国各地で水の事故が多発し多くの子供の命が失われ、川の水遊びは危ないと言うのが社会通念になっています。しかしながら、適切なライフジャケットを正しく着用すれば沈むことなく安全に思いっきり流水で遊べます。カヌー教室を開催し、安全な子供の水遊びをきれいな橿田川等から発信しました。 ③ 2021年の三重国体は中止になりましたがプレ大会が行われました。カヌーマラソン大会を開催し、きれいな橿田川でカヌースポーツの振興・普及を図りました。 ④ 過疎の進んだ飯高地区ではありますが、これらの事業を実施することで、宝物のようなきれいな橿田川を磨いて飯高の魅力の発信と地域の振興を図りました。			
<参加人数> 小学校カヌー教室3回のべ96名 カヌーツーリング大会21名 散策コースウォーキング26名			
<b>活動について</b>			
【実施して良かった点、苦労した点】 全般：コロナ禍にあって予防対策に万全を図るようにしました。 カヌー教室：ライフジャケットを正しく着用すれば沈むことなく安全な子供の水遊びが思いっきり流水で出来るのが発信出来ました。水難防止に役に立つと先生方にも感謝されました。 カヌーツーリング大会：ライフジャケットを着けないで川遊びをする人たちが沢山いて、危ないのでライフジャケットを着て遊ぶように声掛けしました。 散策コース整備：オフシーズンの冬季にもロックガーデンや散策ルートを多くの人たちが訪れ、心を癒す場となることが理解されるようになってきました。スズメバチに刺されないように事前に駆除を徹底して行いました。ロックガーデンや散策ルートを気軽に楽しめるように笹藪を整備しました。 散策コースウォーキング：小学生が地元なのにこんな良いところがあるなんて知らなかった。もっと来たいと言う声を頂きました。			
【これからの活動】 コロナ禍の事業展開で十分な成果が上がったとは言えませんでした。引き続き、同趣旨で事業展開していきたいと思えます。宮前まちづくり協議会のメンバーと一緒に今後継続していく、飯高の魅力の発信は、来訪者や移住者の増加に貢献し、ひいては地域の振興となるものと思われまます。			
<b>総事業費</b>	178,256円	<b>連絡先</b>	090-9944-6651 (桐井)

# 巻末写真集

## <地域力アップ部門>

協議会名	川俣住民自治協議会 宮前まちづくり協議会 森住民自治協議会 波瀬むらづくり協議会
------	--



飯高町全世帯にフライヤー配布・主要施設にポスター掲示をして原稿募集。



飯高公民館寿大学第二回講座「カハダラタベルを語ろう」において聞き取り調査実施。

協議会名	松ヶ崎住民自治協議会
------	------------



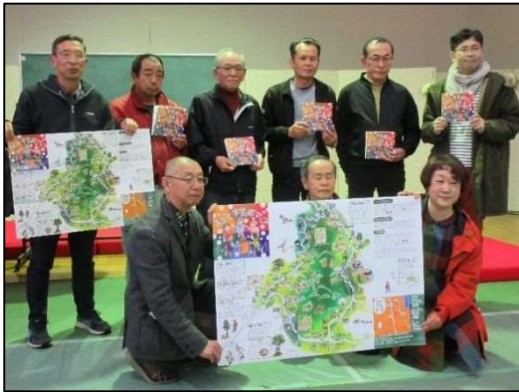
高齢者100人アンケート調査結果報告書



最優秀作品についてチラシで紹介



協議会名	宇気郷住民協議会
------	----------



完成したマップの  
お披露目を行いました。

協議会名	第四地区住民協議会 港住民自治協議会
------	--------------------



鎌中地区防災訓練にて  
発電機の操作方法



鎌中地区防災訓練にて  
簡易トイレ組み立て方法

<市民活動サポート部門>

団体名	MCA 松阪市カヌー協会
-----	--------------



カヌーは減茶面白いスポーツだということ  
が皆が理解出来ました。



ライフジャケットを着れば安心して川  
や海で遊べるようになりました。

## 地域の元気応援事業 年度別採択一覧

住民自治協議会名	27年度		28年度		29年度		30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
	地域力	広域	地域力	広域	地域力	広域				
松阪中央住民協議会	○		○	△			▲			
幸まちづくり協議会			○	△			▲			
第二地区まちづくり協議会										
第四地区住民協議会	○			◆	○	◆				◎
神戸まちづくり協議会					○		○		○	
徳和住民自治協議会	○						○		○	
東住民自治協議会										
あさみ住民自治協議会	○	◇	○	◇	○	◇	○			
掃水住民自治協議会	○	◇		◇	○	◇				
漕代まちづくり協議会		◇		◇		◇	○	○		
伊勢寺地区住民自治協議会							○			
あざか住民自治協議会	○		○		○		○	○	○	○
宇気郷住民協議会										○
西黒部まちづくり協議会		◇		◇◆		◇◆			○	
東黒部住民自治協議会		◇		◇◆		◇◆				
機殿住民自治協議会		◇	○	◇	○	◇	○	○	○	
大石地区住民自治協議会			○		○			○	○	
茅広江住民自治協議会	○									
射和まちづくり協議会					○			○		
鈴の森住民自治協議会	○						○			
港住民自治協議会				◆		◆				◎
松ヶ崎住民自治協議会	○		○	◆	○	◆	○	○	○	○
花岡住民自治協議会	○									
松尾住民自治協議会	○		○		○		○	○	○	○
大河内地区住民自治協議会			○				○			
嬉野宇気郷住民協議会										
中郷まちづくり協議会										
豊地まちづくり協議会			○		○		○	○	○	○
嬉野中川まちづくり協議会										
豊田住民自治協議会					○			○	○	
中原まちづくり協議会	○		○		○		○		○	
米ノ庄住民自治協議会										
天白まちづくり協議会				◆		◆				
鵠住民自治協議会				◆		◆				
おのえ住民自治協議会										
有間野区住民自治協議会					○					
粥見住民自治協議会					○					
仁柿住民自治協議会	○									
柿野住民自治協議会			○							
宮前まちづくり協議会	○		○		○		○	○	○	■
川俣住民自治協議会			○							■
森住民自治協議会										■
波瀬むらづくり協議会			○		○		○	○	○	■
	14	1	15	3	17	2	16	11	13	7

市民活動団体名	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	令和2年度		令和3年度	
						活性	連携	活性	連携
五和会	○								
まつさか子育てママチーム	○			○	○				
『いっしょにあそぼ！福島っ子』の会	○								
飯Ne！！	○								
東自治会館（宅老所）	○								
薬王寺ゆったり庵	○								
瑞巖寺庭園保存会		○							
松阪ハーモニックジュニアバンド		○	○		○				
神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ		○							
このゆびとまれ			○						
阪内町まちづくり委員会			○						
音楽のアトリエMUSICANO（ムジカーノ）				○			○		
特定非営利活動法人 i sierra					○				
Tulay（トゥライ）						○			
松阪ギター音楽協会						○		○	
市場庄おやじ会						○			
まつさかプレーパークをつくる会						○			
生ごみリサイクル亀さんの家						○			
MCA松阪市カヌー協会							○		○
伊勢寺郷土史研究会									○
	6	3	3	2	3	5	2	1	2

広域 …… 広域連携部門。複数の住民協議会が共同で取り組み地域間の広域連携を推進し連携の輪を広げる事業（30年度から地域力アップ部門と統合）

地域力 …… 地域力アップ部門。地域の課題解決に向け地域の個性を生かし地域全体が一体となって取り組む事業（30年度から広域連携部門と統合し、複数の住民自治協議会で取り組む事業も対象）

活性 …… 地域活性コース（市民活動サポート部門）。NPO等の市民活動団体が行う地域活性化のための事業のコース。

連携 …… 地域連携コース（市民活動サポート部門）。NPO等の市民活動団体が、住民自治協議会と連携したり住民自治協議会を支援したりして行う地域活性化のための事業のコース。

○以外の記号 …… 複数の住民自治協議会（住民協議会）が連携して取り組んだ事業

◇東部管内防災ネットワーク ◆松阪市臨海地域防災ネットワーク △松阪三珍花花碑建立

▲歩いて楽しい道づくり ◎地域防災力向上への取り組み ■冊子「カハダヲタベル」発行事業



<お問い合わせ先>

松阪市 企画振興部 地域づくり連携課

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

TEL 0598-53-4324 FAX 0598-26-4035

E-mail [commu.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:commu.div@city.matsusaka.mie.jp)